

CSR推進室 だより *mini*

タンデム自転車試乗会

第8回「さくら賞」受賞団体「大阪でタンデム自転車を楽しむ会」と「商工さくら基金」とのコラボ企画として、タンデム自転車の試乗会を開催しました。

※「商工さくら基金」とは、大阪商工信用金庫の役職員、OB・OGによる任意の募金活動です。

地域社会に貢献するために、職員のボランティア活動や社会貢献活動に取り組む団体の支援などに活用しています。

タンデム自転車とは？



複数の人（通常は二人乗り）が縦方向に並んだサドルにまたがり、それぞれにペダルをこいで走行する自転車がタンデム自転車です。

大阪府では当団体の活動により 2016 年から公道の走行が可能になりました。

前方に乗る人を「パイロット」、後方に乗る人を「ストーカー」と呼びます。視覚障がいのある人や発達障がい児（者）、高齢で一人では自転車に乗れない人であっても、タンデム自転車なら乗ることができ、車や電車では感じられない風を感じたり、周囲の音を聞きながら走ることができます。

健常者のみならず、障がいのある方も平等に楽しめるバリアフリーな乗り物です。



初めて二人乗りの自転車に乗る人ばかりでしたが、団体の皆さんの指導のもと、始めは一人で乗ることからスタートし、30分もすれば2人でスムーズに走行することが可能になっていました。

タンデム自転車の走行に慣れた後は、細いゴムロールの上を走ったり (①)、コーンの間をジグザグに走ったり (②)、タンデム自転車流鏑馬 (タイヤ投げ) (③) などのミニゲームを行いました。

↓ ③



← ①



← ②



大阪でタンデム自転車を楽しむ会

代表 : 鈴木 昭二

設立 : 2012年

連絡先 : 大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル 4F あおぞら財団内

TEL 06-6475-8885

URL : <http://www.tandem-osaka.com/>



薄暮時間帯・夜間の事故に注意しましょう

薄暮時間帯 (日没時刻の前後一時間) や夜間は交通死亡事故が多く発生しています。

周囲の視界が悪くなり、自転車や歩行者、自動車の発見が互いに遅れたり、距離や速度が分かりにくくなるためです。

薄暮時間帯や夜間の事故を防ぐために効果的とされているのが、反射材やライトの活用です。反射材やライトを活用することで、遠方からでも目立ち、自動車の運転手から発見されやすくなります。

薄暮時間帯や夜間、外出される際には、

- ・暗闇でも目立つ格好をする
 - ・反射材やライトを靴、衣服、カバン、杖などにつける
- など、事故に遭わないよう注意しましょう。



大阪商工信用金庫

Shoko

2018年4月発行

〒541-0053 大阪府中央区本町2丁目2番8号

TEL 06-6267-2865 Fax 06-6267-2875

大阪商工信用金庫
経営企画部 CSR推進室

